**現場の週報から（令和4年11月7日～12月4日）**

**【11月7日～11月13日】**

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・ちょっとした時間を見つけて、裏の公園に散歩しながら赤くなった紅葉を見に行きました。「綺麗だね」と、お天気の良い秋晴れで秋を楽しんだようです。今週はドライブの予定を立てています。予定通り行けるといいです。

■介護老人保健施設いずみの杜：佐藤佑典さん

・今週は爽やかな秋晴れの日に、いずみの杜診療所前にテーブルを設置して、老健の皆さんでお茶会を開催しました。少し肌寒い気温でしたが、普段と違った環境で召し上がるおやつの味は格別だったようで、皆さん素敵な笑顔がたくさん見られ、とても喜ばれておりました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・紅葉狩り第二弾の週でした。今週はTさんとHさんが出かけました。Tさんは体調と相談しながらのドライブです。実家のある蔵王へ出かけました。Hさんは小原白石に行きたいとのご希望あり。材木岩の所へ行きました。一対一の時間でじっくりと話をして帰ってきました。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・職員の同居家族のコロナ感染もあり自宅待機となる中、各スタッフが急遽なシフト変更にも対応頂き大変助かっております。コホートヘルプも含め、インフルとの同時流行も騒がれる中、各自健康管理に留意いただくとともに、乗り越えていきたいと思います。

■ゆかりの樹：犬飼裕美さん

・今週は、塩釜神社の菊祭りへ出かけてきております。ご両親の思い出の場所という方が久しぶりに来たと涙流されながら懐かしまれておりました。紅葉も綺麗に色づいており、散策をしてきました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・紅葉を観にドライブに出掛けました。加茂神社では七五三の参拝で賑わっていたようです。

室内では早くもクリスマスの装飾作りを行なったり、先日購入したみんらぼカードでトランプをしたり、穏やかに過ごしています。居室前の落ち葉掃除を、せっせとされているご利用者さん、御年９９歳。１１月１４日お誕生日です。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・新規でご利用された方が、さくらDSのドライバーと同級生でした。「昔はよく飲みに行っていたよ」と久しぶりの会話で盛り上がっていました。

もう一組は９月２日から新規ご利用のO様が先日K様とテーブル席が一緒になり世間話をされていました。話がお孫さんの話になるとお互いのお孫さんが同級生だと分かり、更にK様のお嫁様が小学校の先生で０様のお孫様が教えていただいていた事も分かり盛り上がっていました。

■グループホームあおばの杜：関内利奈さん

・11月12日よりコホート対応となっております。

各事業所で、お忙しいところシフト応援いただきましてありがとうございます。

18日の朝に解除予定となっているため、このまま陽性者が増えないことを願いコホート対応をしっかりと行っていきます。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・12日につばめユニットで紅葉ドライブに行ってきました。利府のグランディの公園までのお出掛けで、公園に着くと車から降りて紅葉を見ながら散歩してきました。途中で少し座りながらゆっくりとお話されながら紅葉の色づいた木々を眺めました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・自宅待機２名、緊急受診２日、コロナワクチンによる熱発者、コホート応援と落ち着かない日々が続きました。１階、２階の職員同士協力し乗り切っています。来週は紅葉ドライブに行けるよう計画を経てています。

加茂神社に行きたいという声も上がっていますので実現したいと思います。

■杜の家ゆめみ：佐藤貴彦さん

・11月13日、ゆめみでは今が旬のはらこ飯を本場亘理から取り寄せて食べつ機会をもうけました。

口に入れると「おいしい」と目を瞑って話す方がいたり、笑みをうかべながら食べたりと、旬の味を堪能した一日となりました。

■杜の家いちい：名取直保美さん

・9日に鳴子峡に紅葉ドライブに行ってまいりました。紅葉も終盤ですが、久しぶりの遠出で皆さん楽しまれていました。鳴子で昼食を頂き、帰りに道の駅で思い思いのお土産を購入されていました。12日には、近くの公園へ紅葉を求め、出かけました。まだまだ行きたい所のリクエストがありますので、来週も外出して参りたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：佐藤雄さん

・10/31県民の森へ紅葉狩りドライブ、11/１塩釜神社へ紅葉狩りドライブに行きました。参加された皆さんは笑顔が多くみられ、少し冷たい風を感じながら秋の訪れを皆さんで感じることができました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・11/9(水)に天気も良かったため、ご利用者さんと一緒に紅葉を見に近くの公園へドライブへ出かけております。丁度、紅葉も見頃で、「綺麗だね、最高だね」との声が聞かれ楽しいドライブとなりました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・9日にMさんの早めのお誕生会を行いました。お誕生日会自体、ご本人も喜ばれておりましたが、やはり当日の11日にお祝いをしてほしい気持ちが大きかったようでした。当日は急遽ではありましたが、スタッフがホットケーキやお菓子の盛り合わせなど準備して、お祝いしています。ご本人の気持ちを汲み取ること、年に1回しかないお誕生日なので、当日というところにこだわる気持ちを大事にしていきたいと思いました。

・先週までお元気で過ごされていたOさんが肺炎での入院から数日でお亡くなりになってしまいました。スタッフの中には、自分たちの対応がこれで良かったのか？とか、もっと早くできることがあったんじゃないか？と思ってしまうと話されているスタッフもいますが、スタッフは、その時にできること、ご本人にとっての必要な対応を考えながら頑張ってくださっています。ご高齢であったこと、心臓に疾患があったことを考えると寿命と言ってしまえばそれまでかもしれません。コロナではありませんでしたが、コロナにかかった方があっという間に重症化して亡くなってしまうのも、こういうことなのか？と私自身も考えさせられました。ご高齢の方のちょっとした風邪も怖いということ、日ごろからの状態の観察、変化に気付いた時の対応が間違ってはいないこと、利用者さんを想う気持ちを大切にした関りや発言に対して、スタッフのみんなに日ごろの感謝の気持ちを伝えたり、フォローを行っていきたいと思います。

　コロナの感染が猛威を振るっていますが、事業所に持ち込まず、頑張ってくれているスタッフに感謝しています。

■ショートステイわかなの杜：小山内月海さん

・10日に少人数ではありますが鳴子狭へ紅葉ドライブへ出掛けました。

下道を通ったので、1時間50分ほどの長旅でしたが、見頃を迎えた山々を見て「凄くきれいだ。来てよかった～」「たまにはこういうのもいいね」と喜んで下さりました！またホットモットのお弁当をテイクアウトし外で召し上がったのですが、「ここの米は美味い！何米ですか？」と紅葉より皆さんお弁当の美味しさに満足されたご様子でした。大自然の中で季節を感じながら楽しいひと時を過ごせました。

「連れて来てくれてありがとう」「あんたにお土産買ってあげる」とお話しして下さった時は本当にうれしく企画してよかったと思いました。コロナ禍ではありますが今後のご利用者とできる事を行ってい参りたいと思います！

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・11月８、10日皆さんで、毛糸や縄を使いながらランプシェイド作りをしました。皆さん約1時間、真剣に取り組まれておりました。

■グループホームはるかの杜：後藤浩樹さん

・職員が少ない中ではありますが、「今日は天気が良いので、紅葉見にいきたいですね」と職員間で話し合い、西公園などへドライブへ出かけております。「今」を大切に関わっている職員さんに感謝です。

■介護老人保健施設希望の杜：齋藤淳さん

・先週はフロアでご利用者の皆さんと一緒にサツマイモを茹でて、サツマイモ餡をつくりました。そのサツマイモ餡をクラッカーの中に挟み、皆さんで味見をしました。みんな笑顔で「おいしい」と、普段あまり召し上がらないAさんも率先しておかわりをされておりました。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤恵美子さん

・皆既月食をみて「こんなのめったに見られない」と少し興奮されていたり、暗くした廊下で皆さんで星の星座の話をされたり、夜のプチイベントを楽しまれていました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は11/7ご利用者１名コロナ陽性、10日職員１名コロナ陽性となり、落ち着かない週となりましたが、11/9バック作りのイベントの実施と、10日加茂神社へ紅葉を見に行きドライブに行って参りました。きれいな景色にみんな元気をもらい、何とか今週乗り切ることが出来ました。今週体験ご希望でした、今野きよ様に関しましては次週以降の木曜日で調整をしてまいります。

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・訪問看護ステーションの高橋喜代子さんより、柿を沢山頂いたので、ご利用の方と一緒に柿の皮切りを行い干し柿にしました。吊るした柿を見て、「早くあまぐなれば良いな～」と、楽しみに見上げておりました。

・カレー作りを行いました。調理の際は、お一人ひとり分担されて切り方をして下さいました。美味しいカレーを作ろうと皆さん、真剣な表情で切り方をされていました。隠し味も皆さんの意見に多数決を取り隠し味を決めて美味しく出来たカレーを皆さん完食されておりました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は台原中学生の職場体験の学生さんが来て下さいました。介護という仕事に興味がある、将来は医者になりたいと夢を持ってきてくださいました。緊張しながらも挨拶をして下さったり、自己紹介をして下さる様子を皆さん温かく見守ってくださいました。一緒に調理活動や園芸、体操や運動アクテビティを行い、笑顔で関わる様子が見られました。また、孫に世話を焼くように学生にお茶を淹れて下さるご利用者、「ここにおいで」と隣に座って良いと声を掛けて下さる方、久しぶりの外部の方の触れ合いは貴重な時間となりました。先日の全体会議で理事長より「好きな仕事」と「出来る仕事」は必ずしも一致しない。好きな仕事を出来る事が一番だけれども「出来る仕事」からやりがいを見つけられるといいですねというお話がありました。これから、夢に向かっていく学生の皆さんもいろんな経験をし社会人になっていくことと思います。その背中をそっと押す役割が今後も出来ればと思った３日間となりました。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：大嶋貴子さん

・初めてご利用中のご利用者がコロナ陽性となりました。濃厚接触者の洗い出し、お帰りいただく方と続けてご利用いただく方の対応…通常営業をしながら濃厚接触者の対応をする大変さを痛感しました。結果、ご利用者・職員で計27名の濃厚接触者が出ましたが、全員陰性で収束したのは、発生初日の動きにあると思います。全員ができることに取り組み乗り切ってくれた全職員に感謝の気持ちでいっぱいです。検査対応やヘルプにご協力いただきました他部署の皆様にも改めて感謝申し上げます。

・10日に毎年恒例の芋煮会を行いました。今年も宮城風、山形風の芋煮を作りました。ご利用者の方にも里芋の皮むきや味付け等を手伝っていただきました。ご利用者からは、「芋煮おいしくいただきました。山形に単身赴任時の山形の醤油味を食べました。今日は欲張って宮城と山形両方ご馳走になりました。」とお手紙をいただきました。濃厚接触者で出勤できないスタッフもいる中でバタバタした開催になりましたが、なんとか皆で協力して芋煮会を無事行えることができて良かったです。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・１０日に『大運動会』を実施しました。　『運動会』って何すんの？！と皆さんワクワクドキドキ。　昔運動が得意だったの、かけっこいつも一等賞だったよ。と話される方や、走るのは苦手だな～でも、応援はできるわよ！と話される方もいらっしゃいました。　運動会と言えばお弁当でしょ、ということで、お弁当も希望を聞いて作ってくれるところに依頼し、打ち合わせをして準備万端。走れない方にも配慮して、みんなが参加できる競技を準備しました。

そして、『運動会と言えば、おゆうぎは？』という加藤さんの発案から、『みんなでマツケンサンバしよう！！マツケン、マツケン・・・マツケン？サトケン？！サトケンサンバ？！』となり、頼んでもいいものか、でもみんなでサンバしたら盛り上がりそうだし、佐藤さんファンも喜ぶし、、、佐藤顧問に怒られるのを覚悟の上で、顧問ご本人にもご利用者さんにもサプライズで決行。

普段立ち上がるのが難しい方も立ち上がって踊って、みんな笑顔で過ごせました。楽しくてもっと踊りたかったけど、息きれたからやめた、というYさん。松平健よりいい！！なんてお言葉も聞こえました。

佐藤顧問、忙しい中、むちゃぶりに応えていただきありがとうございました。

■グループホームけやき：渡邉江利子さん

・先日外は秋晴れで少し暖かい日に散歩にお誘いすると「いいね行ってみっから」と駐車場内ではありますが散歩に行かれております。「外の空気いいね」と言われ、気分転換になられた様子でした。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・職員のおばーちゃんのお家から柿をいただき、早速届けて下さった職員さんが中心となり、干し柿作りを行いました。みなさん「早くたべたいね～」「きれいに吊るしたこと～」と満面の笑みで喜ばれております。

**【11月14日～11月20日】**

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・20日にお寿司イベントを実施しました。追加利用で参加された方もおりました。普段食事が進まない方もお代わりをする場面が見られました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は体験利用の方がいらっしゃり、定義山ドライブへ出かけております。ドライブ先を相談していた際にご本人より「昔は良く定義山に行ったんだよ」とお話がありました。病気を患ってからは遠出することがなくなり「随分立派になったんだね、前に来ていた時とはずいぶん変わった！今日はグットな一日だった」と話して下さいました。奥様も「自分で話したんですか？前は職場の方と良く行ってた思い出の場所なんですよ。久しぶりにあの笑顔を見ました。安心しました」と嬉しいお言葉を頂きました。電気屋さんを見て回るのもお好きだという事で「今度は長町のヤマダ電機に行ってみたい」とお話しして下さり、ご本人の言葉として希望が聴けるというのは本当に尊く幸せな事だと感じました。

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・天気にも恵まれて、中庭でサンマなどを炭火焼しました。秋の味覚としてもサンマの塩焼きとサンマのすみれ汁を食べながら皆さん秋の「食」を楽しく召し上がっておられました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・今週は紅葉ドライブに行きたいとの声があり、賀茂神社に行きました。　真っ赤な紅葉と一緒に写真を撮り、また来年も見たいねと皆さん笑顔でした。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・16（水）加茂神社に紅葉を見に行きました。車２台に分かれ6人の利用者さんと行きました。

現地は風が強く時折砂ぼこりが舞う時もありましたが、真っ赤な紅葉の下で写真を撮れました。

風になびいた紅葉が頭の所に来たりする様子を笑って見ていたり「凄いね。紅葉もだけど人も次々来るよ」等思い思いの感想を述べられていました。久しぶりのドライブ、良い気分転換になりました。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・送迎中に田んぼの冬田おこしを農家さんがトラクターで耕しているのを良く見かけます。トラクターのすぐ後ろにはカラスが数十羽おり、送迎車の車内では「あれ～カラスすごい数だね～何食べてんだや～」とご利用者が話しています。白鳥の姿はまだ田んぼには見かけませんが大河原町の田畑も冬支度が進んでいます。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：大嶋貴子さん

・ご利用者のご家族から作り方を伺い、職員菅野さんを中心に、「マジックスパイラルキューブ」作りが流行っています。折り紙で作るバネ状のおもちゃのようなものです。いくつもパーツを作るため完成した時の達成感もあり、完成品を開いたり閉じたりする動きは楽しさだけでなく上肢機能の練習といったリハビリの意味合いもあり、ご利用者の間でしばらく流行りそうです。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・11/18(金）　芋煮・はらこ飯イベントを行う

　午前の時間を使い、利用者さんと職員で芋煮の準備を行っています。担当ごとに野菜を切る方・こんにゃくをちぎる方・味付けをする方と協力しながら大鍋に醤油味・味噌味の2種類の芋煮を完成させました。元料理人の男性のご利用者はいつも以上に生き生きとした表情と包丁さばきで「さすが！」の一言でした。この日は、厨房の方々のご厚意もあり、イクラたっぷりのはらこ飯も一緒にお出しし、こぼれんばかりのイクラに「わーすごい！」と大盛り上がり、芋煮も味噌味は早々に売り切れ、大変充実した昼食となりました。今後も感染対策に十分留意しながらイベントを実施し、ご利用者の心身の充実を図って参ります。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・１８日にみやぎの杜全体で昼食作りとしてきりたんぽパーティーを開催しました。それぞれのユニット毎にきりたんぽ担当、豚汁担当と振り分けてご利用者、スタッフと一緒に調理しました。きりたんぽはお米をこねて、割り箸に刺してからホットプレートで焼きながら特性のたれを上塗りしながら焼き、香ばしいきりたんぽが大量に出来上がりました。豚汁は大きな鍋３つ分が完成しました。昼食にご利用者、スタッフで美味しく召し上がりました。まさに食欲の秋、皆でお腹いっぱいになり満足されていました。

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・３年ぶりに県外からご面会に来られるご家族へ「現時点では、抗原検査にて陰性を確認させていただいた上でのご面会の制限はありませんので、お気をつけてお越しください」と、ご連絡をした際に「家族としては、こんなに急に感染者が増えると思っていなかったので、面会ができないのではないか？と、いう不安があり・・・。また、感染対策をしながら従事されている職員のみなさんのご負担が増えるのでないか？と、いう気持ちもあるのですが、会いに行かせていただきます」と、お言葉をいただいております。このコロナ禍の中、制限のある生活をしているのは、ご入居者のみなさんのみならず、ご家族のみなさんも「会いたい時にすぐ会いに来れない」と、いう不自由さがあるのだと改めて感じました。ご家族のみなさんの心情を察すると、自分が万が一、無症状で感染していたとしたら・・・と、いう不安も胸にご面会の予約を入れて下さっていることでしょう。他法人では、面会禁止や玄関先に設けられたパーテーションを介して時間制限のある面会がある中で、わたし達の環境は事前にご面会の予約を取っていただいたり、抗原検査を行っていただいたりしながらも、ご入居者に触れること・お互いの温もりを感じることのできるご面会ができているからよかった！！と、深く考えさせられました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・Oさん　料金面などから特養へ引っ越しの希望がご家族から出ていました。先週、茂庭にある特養に申し込んだと話あり、18日実調をしたいと連絡あり。電話での実調を行っています。早ければ、今月末には入所になると話あり。退所引っ越しの話が進んでいます。グループホームへはご本人も見学へ来られ自分自身でお決めになって入所した経緯があります。ご家族へ引っ越しについてご本人と話をしてほしいと伝えました。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・16日より障がい側、入居者さんのコロナ陽性を受けてコホート開始しています。現在の所、高齢入居者さん、スタッフ、障がいの入居者さん、状態に変化なく経過しています。陽性となった入居者さんも活気があります。

応援の職員さんの力をお借りしながら対応していきます。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・1Fご入居者のT様ですが11月20日にめでたく100歳のお誕生日を迎えることができました。最近は点滴管理となり安定した経口摂取が困難となってきておりましたが、面会時のご家族の献身的な介護とスタッフの想いが通じ、無事100歳の記念すべき日に時間を共有できることに安堵するとともに誇りにも感じているところです。みなさんでお祝いしたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：菅原健さん

・今週は加茂神社までドライブの計画をし、紅葉を楽しんできました。なかなか外出する機会がなかった方たちも家族一丸となってコートなどの防寒着の準備をして頂いたりと様々なサポートがあり今回実現できました。「気分転換になった～」や「綺麗だったよ！」と皆さんの笑顔がたくさん見られましたし、七五三祝いの家族連れに表情を緩めるとても良い姿もありました。秋晴れにも恵まれたくさんの方々のサポートに感謝する一日となりました。

■特別養護老人ホームふたばの杜ショートステイ：渡邊麻衣子さん

・ショートステイ利用されているSさんが100歳のお誕生日を迎えました。ふたばの杜利用中にもお祝いし、皆さんで記念写真を撮りました。これからもお元気で、毎年お祝いできたらと思っています。

■ショートステイみはるの杜：佐藤雄さん

・11/15に無事予定通り11/2から始まったコホート対応を解除することができました。11/15は個室対応を継続し、11/16から通常営業を再開しています。陽性となった方は利用者計7名、スタッフ計7名、総勢14名にまで感染拡大しましたが、応援職員さんや皆様の厚いご支援のもと乗り切ることができました。本当にありがとうございました。

陽性になったスタッフも11/17に最後の1名が復帰し、後遺症に悩まされているスタッフもおらず変わりなく就労されています。第8波が到来し感染拡大が広がっていますが、これからも日頃の感染対策の徹底とご利用者の有症状や体調変化を見逃すことなく健康管理に努め、より良いサービスの提供にと努めます。

■杜の家ふたば：平澤文さん

・11月16日、もともと外食イベントを企画しておりましたが、コロナ流行に伴い企画変更。ふたばでお寿司での会食会をしてから、秋保までのドライブに行き、紅葉狩りを楽しまれております。帰りには秋保の有名なおはぎをを購入し、舌鼓を打ちました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・11/15(火)に、ご利用者さんから「肌寒くなってきている温まりたい」との意向があり、皆さんで足湯を行っております。「温かくて気持ちいいね」との声が聞かれ、楽しい時間を過ごすことができました。

**【11月21日～11月27日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：千葉一也さん

・24日（木）に通所で離設訓練を行いました。通所で実際にあった離設の状況を再現して捜索を開始し、法人や警察に連絡するまでの15分間の初動の動きを確認しました。改めて日頃から通所、入所、総務、居宅、包括で情報共有しながら、連携を取り、すぐに捜索へ迎えるかが大切なんだと感じました。訓練では今後も定期的にアップデートしながらいつでも対応出来る準備を進めていきたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・先週は月曜に情報公開があり、自分にとって初めての情報公開だったので、１時間半もかかりかなりぐったりしました。そして、職員さんの同居家族で陽性者が出まして、少ない人数の中、一週間デイを切り盛りしてくれてスタッフの皆さんありがとうございました。休む本人は申し訳ない気持ちでいっぱいのことでしょうが、私たちは大丈夫です！しっかり休養してまた会えるのを楽しみにしています。そして、何より、利用者さんが、『あれ？今日○○さんは？また休み？』とか、『ここ前よりお客さん少ないから職員さん辞めさせられるんだっちゃ！！』など、風評被害もありながらも、それに対して、『○○さんは有給いっぱい残ってるから今のうちに使うようにしてもらってるんだよ』など、上手に切り返してくれてとっても嬉しかったです。職員も利用者さんもいつも○○さんのお人柄に助けられています。だから、申し訳ないなんて思う必要一切ないのです。

・ＧＨはるかの杜の後藤さんからもらった柿を皆さんでむき、干し柿にしました。それをご利用者さんがそろそろ食べごろだと教えてくれ、モミモミ揉んで(干し柿って揉まないといけないんですね)、仕上げ。ちょっと硬くなり過ぎた感じもありましたが、みんなで食べたら『ちょっと硬いけど美味しい』『甘かった～』『入れ歯外れそうになったわよ！！』なんてお声も。楽しくて美味しい一コマになりました。

もし来年も余ってたらこちらまでお願いします！！

・今週車のタイヤ交換をしてもらいにイエローハットさんへ行きました。時間を聞くと１時間以上かかる。と言われ、２台予定していたので、１時間待ってそれを乗って田子に戻り、また１時間・・・なんて待ってらんない、スタッフも大変なのに！！

ってことで、歩いて(走って)帰ることにしました。グーグルで調べると約４キロ。健常女性の歩行が時速4.5㎞くらいだから、私歩くの早いし、大丈夫！なんて楽天的に考えていたのが間違いの始まり。意外と遠い遠い・・・田んぼの中をとことこ小走り、すっかり変人ですね。

なんとか目標の３０分を切って事業所に到着したのはいいけど、しっかり靴ずれができ、午後からは股関節が痛くて仕事になりませんでした。

どなたか、使ってない自転車寄付してくれませんでしょうか。ずっと出来ていない車のオイル交換など、待っていないといけない場面が結構あるので、自転車があったらいいのにな～とずっと思ってました。ご連絡お待ちしてます。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

11月23日（水）昼食に芋煮と５種類のおにぎりを選んでいただくイベントを開催しました。芋煮は味噌仕立ての一種類としおかわり自由。おにぎりは「梅」「鮭」「昆布」「おかか」「ツナマヨ」から選んでいただきました。漬物は「大根」「きゅうり」「梅しそ」から選んでいただきました。芋煮は大変好評で大きな鍋で作りましたがおかわりされた方が多く鍋の芋煮は完食されていました。おにぎりも数名の方がおかわりされてました。各テーブル席から「美味しかったよ～」と笑顔の花が咲き秋の味覚を楽しまれていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・天気の良い日に近隣を散歩し、紅葉とともに写真を撮りました。

・冬物の上着が欲しいとのご要望あり、ご利用者さんとユニクロへ買い物に出掛けました。欲しかった上着を購入するととても喜ばれていました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・27日に芋煮イベントを行いました。仙台風、山形風を準備し、好みの芋煮を食べていただきました。今回はおにぎりの具材を数種類用意し、各自でオリジナルのおにぎりを作ってもらいました。おにぎりにせず、そのままご飯に具材をかけて食べる方、数種類の具を混ぜて作る方それぞれでした。

・27日に離接訓練を実施予定でしたが、コロナ陽性者が確認されたため、実施できませんでした。来月に実施予定です。

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・２１日にかもめユニットで加瀬沼公園まで紅葉を見にドライブに行ってきました。当日雨の心配もありましたが、午後になると晴れたので無事に行くことが出来ました。公園に着くと園内を歩きながら赤く綺麗に染まった紅葉を見ながら散歩しました。ご利用者方は「あ～綺麗だね～」「立派な赤だ～」と紅葉の木を見て満足されていました。

・２０日はつばめユニットのAさんの９４歳の誕生日でした。ご本人はパンが好きなので、近所のパン屋で買ってきた美味しいパンをプレゼントすると、喜んで食べられました。

■いずみの杜診療所：菅澤宏紀さん

・11/25にはたらくdayの活動を行いました。今回は畑のうね作りと歩道にはみ出た草刈りを行いました。天気にも恵まれ、歌を歌いながら気分よく働いているメンバーさんや、二人一組になって作業を効率よくされているメンバーさんなど、皆さんご自身のペースで思い思いに作業に取り組んでおりました。その後は依頼主さんのご厚意で頂戴した飲み物で乾杯し、冬に突入する前の、おそらく今年最後の草刈りの余韻に浸っていました。改めて皆で一緒の目的を達成するということの良さを実感できた瞬間でした。

■介護老人保健施設いずみの杜：菅原健さん

・24日は芋煮会を計画しました。入居者さんには野菜の切り方をお願いしました。「どんな風に切ったら良いですか？」や「出来上がりが楽しみだね！」と皆さん昼食まで待ち遠しい様子でした。待ちに待った昼食が来ると「美味しい！」とあっという間に芋煮が完売していました。

・25日は青麻神社にドライブに行ってきました。県民の森の木々もほとんどの葉が落ち冬に向かっているのだと感じさせられました。「外の空気はおいしいな～」「また来たいね～」と有意義な時間を過ごしてきました。天気にも恵まれ最後の秋を満喫してきました。

■デイサービス悠々：梅村卓也さん

・11月22日午後から天気も回復し、紫山公園まで秋を満喫しに行きました。紅葉を見たり、車中から観音様を見てとても喜ばれて、手を合わせて拝まれておりました。帰ってからも『とても良かった』と喜ばれておりました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・Tさん徐々に食欲が下がってお看取りの時期になっただろうと主治医の先生から話があり三カ月たとうとしています。一週間ほど食事をまともに口から取れず、水分も数口が続いています。人生会議を重ねています。お看取りの事は治るものではないため本人へは伝えたくないと家族。ご本人の希望もあり医療は望まない中で本人に合わせた日々が続いています。本人からも『何でこいなんだか、おればっかりな…ごめんね』と泣かれる日も多くあります。寄り添いながらも自宅に行きたいという想いがあったTさんの想いをご家族へ伝えました。体調やコロナも怖いとご家族に何度かやり取りし、自宅へ2時間程帰りました。見慣れたご家族の顔と自宅のTさんの特等席から見える外の道路沿い、ジーッと外を眺め『家だな』とかみしめているようでした。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・なつめユニットの平間さんですが、絶飲食で１２日から点滴+酸素されていましたが、今週からお声がけに頷かれたり言葉がでてくるようになりました。一つひとつの仕草に職員と喜びを共有しています。私たちにできることを相談しながら行動にうつしています。食べるのがお好きな方ですので、STさんに相談しながらまた食事が再開できるよう、焦らずに口腔ケアや嚥下訓練を行っていきます。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・障がいの入居者さんのコロナ陽性を受けてコホート対応してきましたが26日（土）９時で解除しています。

期間中、他入居者さんへの感染も確認されず、感染した入居屋さんも安定した状態で経過しました。

障がいの入居者さんは通所サービスや作業所で働き、多くの方たちと接しますので、ホーム内での生活について、もし今回のように感染してしまったとしてもホーム内に広めないための対応をスタッフ全員で再度確認し、実行していきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・先月入所されたKさん。お家で以前は、料理等もしていたとのことでしたが、しない時期を経て入院をされました。ＣＨに入居され、出来るのかなあとご家族も思われていました。入居後、食事の下準備から、盛り付け、食器洗い、洗濯干しやたたみ方など、日常にしていたことを、いろいろする事が出来ています。大好きだったと言われた、花の手入れも今後していけたらいいなあと思います。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・11/24(木）午後のレクの時間を使って、おやつ作り（フルーツサンド）を行いました。工程を書いた模造紙を張り出し職員がマイクを使って説明している間にも、具にする予定のバナナや蒸かしたさつま芋をそのまま召し上がるご利用者が続出。サンドイッチ＝おかずがはさまれている認識の方が多く、パンに生クリームやフルーツを乗っけながら「あら～最近はこんな風に食べるの？」等とおっしゃりつつ思い思いに作られていました。SNSで見るような”映え”のサンドイッチとはなりませんでしたが「食べれば一緒よね」「これはこれで良し！」と自分好みに作ることを皆さん楽しまれていらっしゃいました。まだまだ外食は難しい状況ではありますが、アイディアを出し合い工夫しながら出来る事をこれからも実施して参ります。（なお、余興として余ったバナナを使った職員による早食い競争も大変盛り上がりました事を追記いたします）

■グループホームはごうの杜：大﨑美智子さん

・ご家族にご様子をお伝えするお電話を行っている際に、「今年は、お部屋の窓から暖かい日差しが感じられて心地よい日が続いていますが、これから寒くなってきますので職員のみなさんもお身体に気を付けてくださいね」と、温かいお言葉をいただく機会が多くあります。ご入居者のみなさんにも、日々支えていただくことが多く感じておりますが、ご家族のみなさんにも沢山支えて頂いていることに感謝です。

■グループホームけやき：渡邉江利子さん

・コホートが２３日終了しております。コホートの為居室で過ごされておられた方々が久しぶりに顔を合わせて食事され「やっぱり一人で食べるよりみんなで食べたほうがおいしい」と食事を召し上がられておりました。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・21日より25日の朝まで1階ユニットでコホート対応となりましたが、感染が広まらずに済んでよかったです。応援に来て下さった猪狩さん、本木さん、お忙しいところありがとうございました。

・コホートとは別ですが、濱松さんにも助っ人に来ていただいています。皆さんに助けて頂き、感謝しています。ゆづるの人員が補充されたら、困っている時にはこちらからも応援に行って恩返しをしたいと思います。

・ベランダに干していた干し柿が食べごろになりました。みなさんで食べています。Cさんは「とってもおいしい！」と大絶賛。日ごろ食が細く、ミキサー食も口に含む程度しか食べない100歳のTさんですが干し柿にかぶりついて召し上がって下さいました。旬のもの、食べたいものは別なんだな～と改めて感じました。

・25日は2階ユニットの黒田さん、阿部さんお二人の誕生日でした。スタッフのオカリナ演奏に合わせてみんなでハッピーバースデイを歌いました。黒田さんはご家族からのお手紙とプレゼントにも喜ばれていました。

■デイホームいずみの杜：福川準さん

・ドライブで、観音像を見てきました。目の前で見て観音像の大きさにビックリされていたご様子でした。観音像に皆で手を合わせて身体の健康を祈ってきました。

■グループホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・11/26に99歳になる菊池さんの誕生日会を行いました。

菊池さんの大好物であるマクドナルドをみんなで購入、普段の食事を残される方も、セットをペロリと召し上がっていました。おやつには手作りのケーキも振舞われ、大満足の１日をお過ごしいただけました。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今週は紅葉ドライブ最後のお出掛けに行きました。見頃を迎えた辺りはなかなか見に行けず慌ただしく行くこととなりましたが散った落ち葉をみながら「こうやって季節が巡って来るんだね」「でも、仙台はそんなに雪降らないから」と寒い寒いと手をこすり合わせながら眺めて来ました。来月はクリスマスと忘年会が来ます。一年の締めくくりがすでに楽しみのご様子です。

**【11月28日～12月4日】**

■グループホームみやぎの杜：鈴木篤史さん

・12月1日にドライブに出掛けてきました。天気も良く、少し遠出で中山方面まで足を延ばして皆で有名な仙台大観音の前で写真を撮りました。皆さん大観音を見て、「すごい高い仏像だね」と驚かれていました。

■介護老人保健施設いずみの杜：斉藤慎一さん

・紅葉も終わり、12月に入ったということもあり、ユニット内の設えも徐々にXmas仕様に変化してきました。ご利用者と一緒に窓際のもみじの飾り付けを雪の結晶の飾りに取り換え、天井から吊るしたLEDを光らせると「あらー、きれいだこと」と皆さんにっこり。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・あやめユニットの職員２名自宅待機、１名退職に伴い３名で夜勤をまわし、コホート応援と目まぐるしい日々でした。パート職員さんも超過で頑張ってくださいました。なつめユニットの職員も総動員で乗り切れました。皆さんに感謝、感謝です。その中でも１日だけ東照宮に紅葉を見に行けました。「秋の終わりをしみじみ感じるわね」と話されていたご利用者のお言葉が印象的でした。

■さくらの杜こども園：我妻亜紀さん

・11月の壁面装飾を12月の飾りに変えました。室内の装飾もクリスマス仕様に変えています。

・クリスマスのプレゼントを何にしようかいまだに検討中です。

・子供達それぞれに個性があり、毎日職員でそれを話し合いながら皆で関わり方などを話し合っていくようにしています。大人としか遊ぼうとしない園児には、どうやって他児と自然に関りあって遊べるか、玩具を投げて喜んでいる園児にはどう接していくかなどを毎日みんなで考えています。なかなか良い答えは見つかりませんが職員全員で話し合うことが出来ているので、こうやって毎日私たちも学ばなければなと考えています。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・12月に入り、季節の装飾はクリスマスになりました。ツリーもご利用者酸と飾り付けをして、ホールを彩ってくれています。

・大河原駅前のイルミネーションが始まり、河川敷の桜に木につけたイルミネーションも3年ぶりに始まりました。17時からなので、ドライブへい行く計画を立てています。

■さくらデイサービスセンター：三邉純さん

・来週11日でさくらデイサービスセンターを異動する職員がいます。今週からご利用者に自身から異動の事を話されています。ご利用者の中には異動と聞いて涙を流された方もいます。ご利用者からの言葉は様々ですが、送迎車の会話は異動の事が毎日の様に聞こえてきます。その言葉のほとんどは「寂しくなる」です。この言葉の中に異動する職員の今までの関わりや働き方が感じられます。さくらデイサービスセンターでの７年間彼は大きく成長し、全ての業務に関してリーダー的ポジションを担うまでになっています。異動し更なる成長をみんなが期待しています。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・月末の30日にプリンターが壊れました・・・日頃の行いが悪いのでしょうか。

毎日印刷をしない日はありませんが、月末の一番忙しいときにプリンターが壊れ、何も印刷が出来ないので、近くの事業所に駆け込む生活に・・・

しばらくご迷惑をお掛けしますが宜しくお願い致します。

・今月でスタッフのＴさんが産休に入ります。『妊娠してるの？』など声をかけられないので、みんな気付いてないのかな～なんて言っていたけど、実は皆さん見てました！！特に女性の利用者さんは気付いていたけど言わなかったと。みなさん奥ゆかしいですね。利用者さんに『頑張ってね』『赤ちゃん産まれたら見せてね』と声をかけられ、暖かい雰囲気が漂っていました。

・コロナ関連でスタッフが少ない中、業務の見直しをせざるを得ない状況になっています。４月に異動してきてはや８ヶ月。事務所にＰＣがあるので見守りしながらＰＣ作業が出来ないことが凄く不自由に感じ、ずっとホールで仕事が出来ないか思考錯誤していましたが、最近は長いケーブルで利用者さんのとなりに座ってＰＣ作業をするようにしています。ホールにいると皆さんの声も聞こえるし、何より私も寂しくない。(みやぎの杜の事務所ちょっと寂しいんですよね。)　皆さんの会話を聞きながら、ときどきくすっと笑ったり。同じ時間を共有出来て、忙しながらも楽しいです。

ただ、ケーブル問題が・・・『バリアアリーですよ！！』とか、『足元気をつけて！！』と目を光らせないと転倒事故が起きかねません・・・毎回養生テープで固定する？！天井を這わせる？　アイディアがあったら教えてください。しかし、バリアアリーも結構よいもので、見ていると、コードを踏まないようにいつもよりしっかり足をあげている姿がチラホラ。もちろん毎回大丈夫か見守りしながらですが。

・包括さんとのコラボで色んな活動が広まりそうです。近隣のコンビニの経営者さんが障害雇用にとても積極的なお考えの方らしく、新たなボランティア先として話が進みそうです。働きたい気持ちがあっても諦めている方もいらっしゃるし、働くことには自信がなくても、人の役に立ちたいと思っている方もいます。働くことだけでなく、社会とのつながりを再獲得することができる、そんなきっかけになるといいなと思います。そして、何より、関わる方が認知症に対する偏見を無くすためにも、まず私達を知ってほしいなと思っています。限られた人数での取り組みになるので、どこまでできるか不安はありますが、時間を見つけて参加できたらなと思います。

■ショートステイみはるの杜：佐藤雄さん

・コホートが終了し11月26日より通常受入れを再開、少しずつ日常が戻ってきた印象です。利用者さん本人、ご家族さん、ケアマネさんから労いの言葉をいただきました。月日とともにコロナの知識、対応について深まっていく中で、濃厚接触によりサービスが使えないもどかしさ、本人、家族もいろいろ考えたと思います。コロナとの付き合い方を改めて考えさせられた11月でした。

■グループホームかぐらの杜：半澤克也さん

・ホールにクリスマスツリーの飾り付けを行いました。赤色が少ないから、赤色の飾りはこっちにつけた方がいいよね。などバランスを考えながら飾っておりました。鮮やかに装飾されたクリスマスツリーが飾られ、ホールもクリスマス一色になりました。あるお年寄りさんは、あとはケーキだねと話され楽しみにされているようです。何味のケーキが食べたいのか？苺かな？ケーキを美味しそうに食べる皆様の顔が今から楽しみです。

■グループホームゆづるの杜：高澤智子さん

・29日に2階ユニットでお昼に鍋パーティを行いました。土鍋をテーブルの真ん中において、熱々の鍋を食べていただきました。「早く箸持ってきて！」などと食べるのが待ちきれないご様子で喜んでいただけました。

・Mさんがティッシュを叩いたり折ったりしているのをちらっとみてはいましたが、ふと気が付くとティッシュで手作りマスクを作成されていました。Mさんの手先の器用さと周りがマスクをしている中で、自分もしなければという意識の高さに感動したのと同時に、お部屋を出るときにちゃんとマスクをお渡ししなかったことに反省しました。あまりにも器用に作られていたので写真を撮らせていただきました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・Tさん12月4日に永眠されました。愛知にいる娘様とお孫様がちょうど面会に来られた時でした。お見送りをしたいとみなさん夕食を取らずに、お一人お一人お見送りされていました。涙ぐんでいる方も多く、一緒に過ごした日々を思い返します。メモリアルカンファレンスも行っていきます。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・11/29(火）事前に希望者を募り、本日の昼食時に海鮮丼のテイクアウトを行い、食事を楽しんで頂きました。お魚が食べたいとのリクエストが利用者さんより聞かれ、そのリクエストに答えて海鮮丼を食べて頂きました。参加された利用者さんからは、「美味しかった」「量が多くて食べきれない」「魚がとても美味しかった」等の感想が聞かれていました。「またお願いします。」とのご希望も聞かれておりました。再度の検討、実施を利用者さんの声に沿って行っていきます。